

公平委員会(※)委員の渡辺正士氏が6月24日で任期満了となるため、次の方の選任に同意しました。



渡辺 正士 氏

鳴沢4組 (再任)

任期は4年間となります。

※公平委員会

職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分を審査し、これについて必要な措置を講ずる行政委員会。

農業委員会(※)委員が7月19日で任期満了となるため、次の方々の任命に同意しました。

- ・ 渡辺 永幸 氏 鳴沢東9組 (再任)
- ・ 渡辺 秀明 氏 鳴沢6組
- ・ 三浦 照芳 氏 鳴沢7組 (再任)
- ・ 渡辺 浩 氏 大田和1組 (旧3組)
- ・ 渡辺 宗司 氏 大田和1組 (旧3組)
- ・ 小林 芳雄 氏 大田和4組 (再任)
- ・ 渡辺 重夫 氏 鳴沢7組 (再任)
- ・ 渡辺 正人 氏 大田和1組
- ・ 渡邊 つたゑ 氏 鳴沢東9組
- ・ 渡邊 正子 氏 大田和4組

任期は3年間となります。

※農業委員会

農地の権利移動等の許可や違反転用の監視、農業の担い手への支援、農業経営の合理化の推進などを担う行政委員会。



※任命式終了後に撮影。(渡辺正人氏は所用のため欠席。)

Q 道の駅駐車場の渋滞緩和策は

A 第2・第3駐車場のさらなる活用を推進する

道の駅駐車場の渋滞緩和策として、道の駅北側の屋坪に駐車場やキャンプ場を設ければ、観光にかかわる新たな雇用と渋滞緩和による観光客の増加が期待できる。道の駅駐車場の渋滞緩和策と、道の駅を中心とした観光拠点の整備計画は。

●鳴沢村長 小林 優

屋坪への駐車場やキャンプ場の整備案は参考にさせてもらうが、自然公園法の規制もあるため、第2、第3駐車場をさらに活用して渋滞緩和を図りたい。

道の駅を中心とした観光拠点の整備計画としては、魔王天神社から足和田山の東海自然歩道への迂回路の整備を行い、紅葉台、道の駅周遊コースを設けて本村への集客につなげる。

また、ソフト面では、山梨大学と山梨県町村会の共催で、村内の資源・産物・文化などの調査・検証を行い、観光と農業を通じた地域活性



渡邊 政司 議員

化を推進する事業を進めており、11月にエポックホールで提案発表の予定である。

道の駅の施設は22年目を迎え、物産館や軽食コーナーも手狭となり、各施設を根本的に見直す必要がある。



混雑する道の駅なるさわ第一駐車場

Q 企業誘致における工場立地基準の緩和は

A 近隣の動向や自然公園法など総合的に勘案し、条例整備を検討する

今後、本村においても、人口減少対策、税収確保といった観点から、村内に働く場所を確保していく必要がある。

森林面積が村の約87%を占めていることや、村全域が自然公園法の指定を受けていること、近隣市町村の動向など、総合的に勘案し、今後条例の整備を検討していきたい。



渡邊 明雄 議員

環境保全を図るため、工場立地法に基づき、一定規模以上の工場の緑地について面積の基準が定められている。村全域に広大な緑地が存在していることを考えると、工場立地の際に敷地内の緑地面積割合を緩和することも企業誘致の1つの方策になるのではないか。

●企画課長 渡辺 安司

工場立地法では、一定規模以上の工場を建設する場合、敷地全体の20%以上を緑地とする規定がある。

地方分権の推進により、平成29年度から地域の実情に応じて緑地面積の割合を条例で定めることが可能となり、県内では南アルプス市と都留市が条例を制定している。このほか今年度中に8市町村が条例の整備を予定している。



工場敷地内に整備された緑地

Q 美しい村づくりの具体的な方策は

A 今年度中に景観リーダー(※)が3名育成される予定

鳴沢村は富士山の目の前に位置しており、豊かな自然に恵まれている。すばらしい景観の中での農作物の育成などを移住希望者へ情報発信すれば、定住人口の増加にもつながり、観光資源にもなる。

村は景観計画を策定し、総合戦略でも自然と景観の保全について明記されている。自然と景観を生かした地方創生の取り組みについて、現在の状況と今後の展望は。

●企画課長 渡辺 安司

従前からある自然公園法や、平成27年度に制定した景観条例、また、県の屋外広告物条例等により、開発は規制されている。

総合戦略で、景観リーダーを平成31年度までに3名育成するということが計画されており、今年度中に達成する見込みである。



小林 昭一 議員

今後もこういった景観リーダーの育成を推進して、村のすばらしい景観の保全に努めていくことが、この地域の魅力を一層増すと考える。ひいては定住人口の増加や観光資源として重要になってくると思う。

引き続きこのような環境保全を推進していく予定である。

※景観リーダー

県が行う「地域景観リーダー育成研修」を修了した者で、各地域において地域住民への景観啓発、普及活動を行い、地域住民が中心となった景観づくりに取り組む。



富士の裾野に雄大な自然が広がる鳴沢村

Q 村内産業の創業者への支援の現状は

A 河口湖商工会と協力し中小企業支援を実施



小林 清一 議員

総合戦略で掲げてある村内産業の創業者に対する支援について、具体的にその対象候補が上がっているか。また、上がってれば、行政として具体的にどのような支援を行っているか。

●企画課長 渡辺 安司

総合戦略では、平成31年度までに、村内で会社をつくりたいという方について、2つの法人を支

援していくという目標があるが、現在支援を希望する法人はない。

村では、中小企業の支援として、河口湖商工会と協力して、事業を実施している。商工会では、経済産業省より承認をいただいた創業支援策を強化しており、特定創業者と認定された場合、登録免許税の減免、無担保の信用保証枠の拡大や、自己資金ゼロでも日本政策金融公庫の融資が可能というような事業を行っている。

今後も引き続き、村と河口湖商工会が協力して、金融や税務、労働面の支援を実施していく。

Q 富士芝桜まつりに伴う村内の渋滞緩和対策は

A 村内サービス業等にも配慮した渋滞対策を検討する



三浦 直樹 議員

4月中旬～5月下旬に開催される富士芝桜まつりには、45万人を超える入場者が訪れ、国道139号はひどい渋滞が起きる。マイカー規制や河口湖IC付近からの往復バス等の対策を、主催である富士芝桜まつり実行委員会に村から働きかける考えは。

●鳴沢村長 小林 優

富士芝桜まつりに伴う渋滞は日常生活にも支障を来し、救急車や消防車などの緊急車両の出動にも影響があるため、これらについて何らかの対策は必要と考えている。

現在、村ではバイパス以西の国道139号の4車線化を推進するため、富士河口湖町と合同の期成同盟会を設置し、関係機関へ要望活動を行っているが、予算も伴うことで、相当の時間が

かかると思う。

マイカー規制や、将来的には北麓駐車場を拠点としたシャトルバスの運行なども渋滞緩和に有効と考えるが、139号沿いでは各種サービス業も営業しており、そちらへの影響も懸念される。もう少し時間を置いて、村で対策を研究したり、皆さんでも話し合っていたいただきたい。



連休で渋滞する国道139号

過去に行われた一般質問がどう取り組まれたか、その後を追跡しました。

運動会組み立て体操の今後の実施方針は

質問 平成28年3月定例会
佐藤 博水 議員

組み立て体操で骨折などのけがをするケースが全国的に増えているが、今後どのように進めていくか。



現在の組み立て体操の様子

答弁 四角錐型ピラミッドは来年度は実施しない方向で検討する

危険度の高い四角錐型ピラミッドは、来年度は実施しない方向で検討している。

文科省で策定予定の事故防止ガイドラインを参考に、児童の安全確保に最大限配慮するよう、学校と連携・協力していく。

現在 ピラミッドの形を変更し、児童の安全面に配慮

ピラミッドなどの安全性が問題視されているものについては、平成27年度まで行っていた立体的なものは高さもあつたため負荷が大きいと判断し、平成28年度には立体的なものから単純に上に積み上がる形に変更されました。

また、組立体操の内容にダンスを組み込むなど趣向を凝らし、教員が側に付いたうえで、高さに配慮するなど児童の安全面に十分注意しながら実施されています。

公共施設のトイレを洋式に改修する計画は

質問 平成28年9月定例会
佐藤 博水 議員

和式トイレに不便を感じている利用者が多い。

公共施設のトイレの洋式化への改修計画は。

答弁 財政面や施設状況を鑑みながら検討する

利用頻度の高い施設のトイレについては、財政面や施設の状況を鑑みながら改修を検討していきたい。

現在 鳴沢村民体育館の女子トイレを洋式へ改修



洋式に改修された村民体育館女子トイレ

鳴沢村民体育館は年間多くの利用が有り、特に夏場は学生などの合宿地としてほぼ毎日利用されています。

男子トイレは洋式化されていますが、女子トイレは洋式化されておらず、和式トイレに不慣れなためか、使用后不衛生な状態になっていることもありました。

今年度予算計上され、7月に洋式トイレへの改修工事が完了いたしました。

2年連続で奨励賞を受賞！ ～山梨県広報コンクール～



高評価をいただいた
議会だより 第26号の掲載記事



7月3日に、山梨県広報協会総会において、山梨県広報コンクールの表彰式が行われ、『なるさわ議会だより第26号』が議会広報紙部門町村の部で、昨年度に引き続き奨励賞を受賞しました。

第26号は、決算認定に絡めた「こんな事業が行われました！」の記事が、一つ一つ写真入りでとてもわかりやすい、また、「全国小さくても輝く自治体フォーラム」のレポートも楽しく読める内容である、ということで審査員から高評価をいただきました。

今後も読みやすい議会だよりづくりを心がけ、さらに上位を目指して、委員一同頑張っていきたいと思えます。



「議会だより」へのご意見を募集いたします！

「富士山邑 なるさわ議会だより」は、平成22年9月1日発行の第1号からスタートし、今回で第29号となります。

この間、「住民の皆さまに読みやすく」ということを最優先し、議会だよりとしては珍しい横書き・左開きをいち早く導入して、全体の文字数を抑えてわかりやすい表現にしたり、難しい言葉に注釈をつけたりなど、試行錯誤を繰り返してきました。

その甲斐もあり、県広報コンクールにおいて平成27・28年度と2年連続で奨励

賞を受賞するまでになりました。

今後もさらに住民の皆さまに読みやすく、また皆さまに読んでもらえる議会だよりを目指すため、皆さまからのご意見・ご感想を募集したいと思います。

議会だよりの良い点や、改善が必要な点、取り上げて欲しい企画など、何でも構いません。

様式は問いませんので、「住所」「氏名」「議会だよりに対するご意見・ご感想」をご記載のうえ、下記のいずれかの方法でご提出ください。

提出期限 9月1日(金)

- ・ 役場窓口へ直接提出 議会事務局（総務課）
- ・ 郵送 〒401-0398
山梨県南都留郡鳴沢村1575番地
鳴沢村議会事務局 宛て
- ・ FAX 85-2461
- ・ Eメール gikai@vill.narusawa.lg.jp

なお、いただいたご意見等は、議会だより誌面で匿名でご紹介させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

皆さまからの多くのご意見・ご感想をお待ちしています。

鳴沢村のブルーベリーを全国に!

なるさわブルーベリー応援隊
代表 渡辺 亨

鳴沢村では28軒のブルーベリー農家さんがあり、県内でも上位の収穫量を誇ります。しかし、収穫期間が短く、全て手で摘むため重労働です。更に生産者さんの高齢化が進み、半分以上が収穫できずに廃棄され収益がでないのが今の現状です。そこで鳴沢村特産のブルーベリーの魅力を発信しようと「なるさわブルーベリー応援隊」を今年の4月に立ち上げました。応援隊の主な活動はブルーベリーを使った加工品作りや年間を通して販売できるシステム作りの協力です。



応援隊のみなさん(左より2番目 亨さん・3番目 清正さん)

そのために、PR活動・商品研究・販売方法など、様々な視点から若い力を使って模索していきたいと思っています。すでに鳴沢村つつじ祭りやヴァンフォーレ甲府の試合会場でのPR活動をし、メディアへの宣伝活動も積極的に取り組んでいます。

また応援隊のメンバーの渡辺清正さんにブルーベリーの摘み取り企業を開業してもらい、農家さんの労働の補助も致しております。目標はブルーベリーを使った加工品でB-1グランプリに出場し、日本全国に鳴沢村を発信できればと思っています。ぜひ今後の活動でご協力していただける方がありましたら、よろしくお願いたします。



ヴァンフォーレ甲府の試合会場でのPR活動の様子(小瀬スポーツ公園)

広報常任委員推薦! 鳴沢のおすすすめ!

広報常任委員
三浦直樹

なるさわブルーベリーのあまずっパイ

今回紹介するのは、新特産品の『なるさわブルーベリーのあまずっパイ』というブルーベリーパイです。

道の駅なるさわ物産館をはじめ、鳴沢村の観光施設や宿泊施設でも販売しています。このパイはそのまま食べても美味しいのですが、トースターで焼いて、アイスやホイップクリームなどといっしょに召し上がっても更に美味しいです!
ぜひご賞味ください!



●お問い合わせは
道の駅なるさわ物産館 電話 85-3366

議会からのお知らせ

傍聴してみませんか
次の定例議会は**9月中旬**
に開会予定です。

傍聴可能な日程は、
役場議会事務局までお気軽
にお問い合わせ下さい。

10月にCATVでも放映予定です。
ぜひご覧ください。

☎ **85-2311 (内線111)**

なるさわ議会だよりは、ホームページでも
公開しています。また、本会議の会議録も公開して
いますので、ぜひアクセスしてください。